

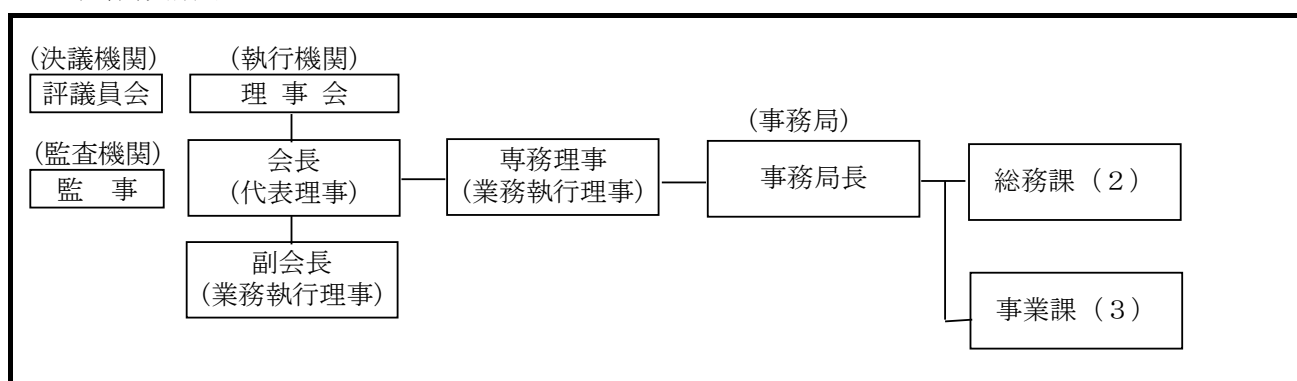
令和5年度 公益財団法人足立区スポーツ協会 事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和6年5月1日現在

名 称	公益財団法人足立区スポーツ協会
所 在 地	足立区中央本町一丁目17番1号
設立年月日 公益認定	昭和23年 4月1日（平成2年1月25日財団法人化） 平成23年 4月1日公益財団法人化 令和 5年10月1日公益財団法人足立区体育協会から名称変更
代 表 者	会長 田中 ひろ子
職員数（実員）	常勤5名（派遣5名） 再任用1名 合計6名
基本財産	5億2,160万円（区出捐金：5億円/その他2,160万円）

2 組織機構図



3 令和5年度経営方針と重点事項

【経営方針】

- 1 組織の見直しにより評議員の定数削減を目指す（令和5年6月改選）。評議員本来の役割を明確にするとともに経費削減の効果も狙う。
- 2 加盟団体連絡者協議会を、単なる情報提供の場から意見を求める場、各団体間の情報共有の場とし、体育協会と加盟団体の運営に役立てていく。
- 3 区補助金以外の収入である協賛金等については、協力事業者のコロナ禍の影響などを配慮しながら支援を求めていく。
- 4 東京都体育協会の名称変更検討状況を踏まえ、足立区体育協会としても名称変更の検討をしていく。

【重点事項】

- 1 足立区におけるコロナウイルス感染防止対策を注視し、区民大会等の実施を見極めていくとともに、区民のスポーツ活動を維持していく。
- 2 コンプライアンス遵守の為に体育協会や連盟・協会主催の各種研修会等を実施し、社会規範に則した活動とリスクマネジメントの徹底を図っていく。

4 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

(1) 公益目的事業会計

決算額（単位：円）				令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減(B-A)	
				29,431,448	39,196,302	9,764,854	
主な内容				指標	令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	スポーツ大会の開催	区民体育大会	大会数	28 回	34 種目	6 回	
			参加者数	8,149 人	10,000 人	1,851 人	
			決算額	3,919,637 円	6,661,854 円	2,742,217 円	
		都民体育大会足立区 予選会	大会数	10 回	14 種目	4 回	
			参加者数	2,144 人	2,932 人	788 人	
			決算額	428,325 円	686,955 円	258,630 円	
		墨東五区大会	大会数	2 回	2 種目	0 回	
			参加者数	111 人	196 人	85 人	
			決算額	898,315 円	573,464 円	△ 324,851 円	
	決算額計（単位:円）				5,246,277	7,922,273	2,675,996
【内容】 区内在住・在勤・在学の小学生から高齢者を対象に、自分に合った競技レベルの大会や上部大会を目指す方に機会を提供し、日頃よりスポーツ・レクリエーション活動に親しんでいる区民の競技力向上を図る。 【効果】 昨年度に引き続き、加盟団体と協力し大会の広報PRに努めたこと及び新型コロナウイルス感染症対策のための開催中止が無かったことにより、区民体育大会及び都民体育大会足立区予選会については種目数増、決算額増となっている。一方で墨東五区大会については競技種目の費用の多寡から前年（R4：剣道・バドミントン→R5：弓道・ソフトテニス）より決算額は減となっている。							
イ	スポーツ教室・広場の実施	スポーツ教室	開催数	985 回	907 回	△ 78 回	
			参加者数	12,112 人	9,894 人	△ 2,218 人	
			決算額	0 円	0 円	0 円	
		スポーツ広場	開催数	464 回	510 回	46 回	
			参加者数	8,342 人	9,679 人	1,337 人	
			決算額	0 円	0 円	0 円	
		シニアスポーツ振興 事業	開催数	6 回	5 回	△ 1 回	
			参加者数	151 人	40 人	△ 111 人	
			決算額	62,055 円	30,760 円	△ 31,295 円	
	決算額計（単位:円）				62,055	30,760	△ 31,295
【内容】 区民が気軽に参加できるスポーツ教室・広場を提供する。 ・スポーツ教室：幼児から高齢者まで年齢を問わず、初心者も気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション教室は年間を通じて実施する。 ・スポーツ広場：いつでも、だれでも、何回でも参加できるスポーツ広場は年間を通じて週1回程度開催している。 ・シニアスポーツ振興事業：シニア世代が参加できるスポーツ教室等を実施することで、高齢者の健康の維持・増進に寄与する。							

4 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

ウ	指導者養成・育成及び紹介	指導者養成・育成	参加者数	17 人	26 人	9 人
			決算額	149,530 円	81,428 円	△ 68,102 円
		指導者紹介	紹介数	3 人	2 人	△ 1 人
			決算額	0 円	0 円	0 円
		競技力向上	参加者数	163 人	415 人	252 人
			決算額	164,000 円	199,000 円	35,000 円
	決算額（単位:円）			313,530	280,428	△ 33,102
	【内容】 指導者養成・育成：地域スポーツにおける生涯スポーツの普及・振興と、公認スポーツ指導員の指導力を向上させる。 指導者紹介：上記指導員を各地域館のイベント等に紹介する。 競技力向上：各加盟団体において強化練習会等の競技スキル向上事業。					
	【効果】 ・公認スポーツ指導員の更新事務及び連絡にかかる通信運搬費を削減したため、前年比減となった ・競技力向上事業においてバレーボール及び新体操事業が追加され、参加者増に繋がった。					
	エ	顕彰事業	体育協会顕彰事業 （大会成績優秀者）	受賞者数	32 人	27 人
受賞団体数				10 団体	4 団体	△ 6 団体
決算額				11,689 円	47,545 円	35,856 円
奨励金事業			受賞者数	20 人	61 人	41 人
			受賞団体数	2 団体	10 団体	8 団体
			決算額	480,000 円	1,140,000 円	660,000 円
決算額計（単位:円）			491,689	1,187,545	695,856	
【内容】 体育協会顕彰事業：オリンピック、国際大会、全国大会等の最高レベルの大会へ出場資格を得た優秀な個人・団体を顕彰する。 奨励金事業：東京都大会以上の大会で3位以上の優秀な成績を収めた者を顕彰して、スポーツの発展と地域活動の促進に繋げる。 【効果】 奨励金事業については、制度を加盟団体に改めて周知することにより受賞者の増に繋がった。						
ジュニア育成		ジュニアスポーツ大会	参加者数	3,985 人	4,760 人	775 人
			決算額	1,805,980 円	2,028,067 円	222,087 円
	ジュニア育成地域推進事業	参加者数	1,483 人	1,559 人	76 人	
		決算額	3,022,981 円	3,725,287 円	702,306 円	
	決算額計（単位:円）			4,828,961	5,753,354	924,393
	【内容】 ・ジュニアスポーツ大会：区内の少年・少女を対象として、各競技種目（15種目）の大会を開催し、地域社会の担い手を育成するとともに、日頃の練習成果を発揮する機会を提供する。 ・ジュニア育成地域推進事業：幼児から高校生、また初心者を対象として、競技力向上を目指す子ども達を育成し、競技スポーツの底辺拡充を図り、トップアスリートを育成する。 【効果】 ジュニアスポーツ大会については、大会の広報PRに努めたこと及び新型コロナウイルス感染症対策のための開催中止が無かったことにより参加者数は前年比2割増の増。ジュニア育成地域推進事業については、事業規模の拡大に伴い参加者数及び決算額が増となった。					
オ						

カ	各種大会選手派遣	都民体育大会春季大会	大会数	17 大会	15 大会	△ 2 大会		
			派遣者数	260 人	307 人	47 人		
		都民体育大会冬季大会	大会数	2 大会	2 大会	0 大会		
			派遣者数	25 人	27 人	2 人		
		都民スポレクふれあい大会	大会数	3 大会	3 大会	0 大会		
			派遣者数	79 人	81 人	2 人		
		都民生涯スポーツ大会	大会数	12 大会	11 大会	△ 1 大会		
			派遣者数	143 人	140 人	△ 3 人		
		墨東五区大会	大会数	8 大会	11 大会	3 大会		
			派遣者数	702 人	1,013 人	311 人		
決算額（単位:円）				2,289,400	2,562,080	272,680		
【内容】 都民体育大会、都民スポレクふれあい大会、都民生涯スポーツ大会、墨東五区各種大会への選手と大会運営役員の派遣に対して交通費の補助として派遣費を交付し、競技力の向上を図る。なお派遣費についてはスポーツ大会派遣補助基準に基づき支出する。 ・都民体育大会（23区内の会場は2,000円/日、三多摩及び関東地域の会場は3,000円/日、それ以外の会場は9,000円/日） ・都民スポレクふれあい大会・都民生涯スポーツ大会・墨東五区大会（いずれも1,000円/日） 【効果】 新型コロナウイルス感染症対策による大会開催中止も無かったことにより、都民体育大会春季大会の参加者数は前年比2割増、また墨東五区大会は4割の増となった。								
キ	リバーサイドウォーキング・スポーツカーニバル	スポーツカーニバル	参加者数	（中止）	4,118 人	4,118 人		
			決算額	10,000 円	2,195,850 円	2,185,850 円		
		リバーサイドウォーキング	参加者数	（中止）	169 人	169 人		
			決算額	261,538	814,452 円	552,914 円		
	決算額（単位:円）				271,538	3,010,302	2,738,764	
	【内容】 ・スポーツカーニバル：毎年「スポーツの日」に、スポーツに馴染みのない区民と運動・スポーツの楽しさを共有し、生涯スポーツ社会を実現するための普及、啓発事業として開催している。子どもから高齢者までスポーツ・レクリエーション活動の場を提供すると共に、体力保持のきっかけづくり、自分にあったスポーツの日常化を促進することを目的としている。 ・リバーサイドウォーキング：区民のウォーキング愛好者から初心者を対象に、荒川河川敷扇大橋・鹿浜橋間の周回コース約8キロを自然に親しみながら歩き、足立区を知る機会とウォーキングの楽しさを提供し、体力の増進を図る。 ※前年（令和4年度）はいずれも開催中止 ※参考に直近の開催年度（平成30年）の参加者はスポカニ6821人、リバサイ366人 【効果】 両事業共に5年ぶりの開催となり、コロナ禍の影響もあつてか参加者数は直近の実施年と比較すると、両事業とも減となっている。							
	ク	機関紙の発行		年間掲載回数	12 回	12 回	0 回	
		決算額（単位:円）				4,266,734	7,653,646	3,386,912
		【内容】 ホームページの運営や機関紙を発行し、各種スポーツ活動の情報を提供し、地域スポーツの振興と活動の情報を広く提供することにより底辺拡充とスポーツ振興の担い手を育成する。 【効果】 公社ニュース「トキメキ」を通じて各種大会や当協会の名称変更について周知・PRに努めた。また、トキメキ1月号については再印刷費用を負担したため、200万円弱の費用増となった。						

4 令和5年度の主な公益目的事業等詳細内容

ケ	公益目的事業共通	人件費	職員数	6 人	6 人	0 人
			決算額	7,996,456	7,326,312 円	△ 670,144 円
		事務費（会計按分費等）	決算額	3,664,808	3,469,602 円	△ 195,206 円
	決算額（単位：円）		11,661,264	10,795,914	△ 865,350	
	【内容】 ・人件費：固有職員の給料及び区派遣職員の共済負担金費用など ・事務費（会計按分費等）：協会運営のための事務費であり按分費（下記参照）も含む。 【効果】 人件費は区派遣職員の若年化により共催負担金が減となった。					
【会計按分】 公益法人会計基準（平成20年施行）に則り、公益目的事業会計・その他事業会計・法人会計の3区分に分類する際、一概に分類できない費用（例：通話料）については、それぞれの予算総額の按分比率を適用し按分することとしている。 令和5年度足立区スポーツ協会（体育協会）の按分比率は下記の通り ①公益目的事業会計：91％ ②その他事業会計：4％ ③法人会計：5％						

(2) 加盟団体助成事業会計

決算額（単位：円）				令和４年度 (A)	令和５年度 (B)	増減(B-A)
				1, 559, 329	2, 110, 169	550, 840
主な内容			指標	令和４年度 実績(C)	令和５年度 実績(D)	増減(D-C)
ア	加盟団体助成事業	加盟団体活動補助金 交付事業	助成団体数	34 団体	34 団体	0 団体
			決算額	1, 020, 000 円	1, 020, 000 円	0 円
		後援事業	後援数	174 事業	184 事業	10 事業
			決算額	0 円	0 円	0 円
		体育協会顕彰事業 （役員等への顕彰）	被顕彰者数	16 人	111 人	95 人
			決算額	26, 400 円	221, 436 円	195, 036 円
		賀詞交換会	参加者数	(中止)	57 人	57 人
			決算額	0 円	285, 000 円	285, 000 円
		事務費（会計按分費 等）	決算額	512, 929 円	583, 733 円	70, 804 円
		決算額（単位：円）			1, 559, 329	2, 110, 169
【内容】						
・加盟団体活動補助金の支給：各団体につき一律３万円の支給						
・後援事業：区と共同で各加盟団体の自主大会等を後援する。						
・体育協会顕彰事業（役員等への顕彰）：スポーツ協会の運営に多年にわたりご協力頂いた方への顕彰						
・賀詞交換会：毎年１月の初旬から中旬に開催。各加盟団体の会長等が出席。 出席者は全員一律5,000円の会費制とし、会費のみで運営をしている。						
・事務費（会計按分費等）：上記（１）ケを参照						
【効果】						
・被顕彰者の受賞基準を見直すことで受賞者の増に繋がった。賀詞交換会についてはコロナ前以来の開催となった。						

(3) 法人会計

決算額（単位：円）				令和4年度 (A)	令和5年度 (B)	増減(B-A)	
				1,588,786	2,931,129	1,342,343	
主な内容			指標	令和4年度 実績(C)	令和5年度 実績(D)	増減(D-C)	
ア	法人会計	理事会	開催数	6 回	4 回	△ 2 回	
			現員数	11 人	11 人	0 人	
		評議員会	開催数	3 回	2 回	△ 1 回	
			現員数	28 人	12 人	△ 16 人	
		経営部門会議	開催数	9 回	24 回	15 回	
			現員数	35 人	42 人	7 人	
		決算額（単位:円）			1,588,786	2,931,129	1,342,343
		【内容】 理事会及び評議員会開催及び法人に係る渉外経費及び協会運営にかかる経費（会計按分費も含む。）を計上。 経営部門会議：執行役員会、企画財務部会、事業部会、広報部会、指導普及部会、顕彰審査委員会 【効果】 令和5年6月20日開催の評議員会にて評議員の定数削減案が議決され、28名の定数が12名に削減された。 理事会・評議員会の開催数は減となったものの、協会運営が活発化・活性化したことにより経営部門会議開催数は増となった。					

5 収支決算(正味財産増減計算ベース)

I 一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部

単位：円

(1) 経常収益 公益目的事業会計・収益事業等会計・法人会計

科 目		令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要(内訳・主な増減理由など)
基本財産運用益					
基本財産受取利息	〈1〉	1,384,130	1,464,402	80,272	国債購入に伴う償還差益の増に伴う増
基本財産運用益計	〈2〉	1,384,130	1,464,402	80,272	
特定資産運用益					
特定資産利息収入	〈3〉	783	210	△ 573	
特定資産運用益計	〈4〉	783	210	△ 573	
受取会費					
加盟団体分担金収入	〈5〉	680,000	680,000	0	
受取会費計	〈6〉	680,000	680,000	0	
事業収益					
その他事業収入	〈7〉	0	318,800	318,800	賀詞交換会会費及びリバサイ参加費収入の増
事業収益計	〈8〉	0	318,800	318,800	
受取補助金等					
区事業補助金収入	〈9〉	13,339,251	17,515,908	4,176,657	
・スポーツ大会の開催	〈9-1〉	5,246,277	7,922,273	2,675,996	コロナ明けに伴う各種大会の再開による増
・指導者養成・育成及び紹介	〈9-2〉	149,530	81,428	△ 68,102	
・ジュニア育成	〈9-3〉	1,805,980	2,028,067	222,087	コロナ明けに伴う各種大会の再開による増
・各種大会派遣	〈9-4〉	2,289,400	2,531,500	242,100	コロナ明けに伴う各種大会の再開による増
・機関紙の発行	〈9-5〉	3,848,064	4,952,640	1,104,576	トキメキ記事掲載委託料単価の増による増
区運営補助金収入	〈10〉	13,231,675	14,376,640	1,144,965	コロナ明けに伴う事業再開による増
・機関紙の発行	〈10-1〉	418,670	568,652	149,982	
・公益目的事業共通	〈10-2〉	11,661,264	10,795,914	△ 865,350	区派遣職員異動に伴う共済負担金の減による減
・加盟団体助成事業	〈10-3〉	129,329	269,201	139,872	
・法人会計	〈10-4〉	1,022,412	2,742,873	1,720,461	名称変更に伴う挨拶状印刷費用や登記費用等の増
都体育協会補助金収入	〈11〉	491,261	1,106,122	614,861	コロナ明けに伴う事業再開による増、名称変更補助金による増
都体協ジュニア育成事業補助金収入	〈12〉	3,010,471	3,725,287	714,816	コロナ明けに伴う事業拡大による増
受取補助金等計	〈13〉	30,072,658	36,723,957	6,651,299	
受取負担金					
受取負担金	〈14〉	0	1,548,396	1,548,396	スポーツカーニバル開催に伴う増
受取負担金計	〈15〉	0	1,548,396	1,548,396	
受取寄付金					
寄付金収入	〈16〉	344,000	0	△ 344,000	R5寄附金受領なしのため減
受取寄付金計	〈17〉	344,000	0	△ 344,000	
雑収益					
受取利息	〈18〉	111	233	122	
雑収益	〈19〉	10,000	0	△ 10,000	
雑収益計	〈20〉	10,111	233	△ 9,878	
経常収益計	〈21〉	32,491,682	40,735,998	8,244,316	

(2) 経常費用

科 目		令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要(内訳・主な増減理由など)
事業費					
給料手当	<22>	2,256,084	2,242,468	△ 13,616	
臨時雇賃金	<23>	537,756	448,876	△ 88,880	
福利厚生費	<24>	5,321,832	4,719,742	△ 602,090	共済負担金対象職員の変更に伴う減
旅費交通費	<25>	270,963	489,062	218,099	各種会議・事業(スポカニ・リバサイ)開催に伴う増
通信運搬費	<26>	402,168	324,827	△ 77,341	
消耗品費	<27>	848,994	3,361,273	2,512,279	優勝旗・優勝杯新調に伴う増
修繕費	<28>	732,945	469,601	469,601	R4年度末執務室工事に伴う一時的増
印刷製本費	<29>	257,131	2,807,923	2,550,792	トキメキ1月号再印刷費による増
燃料費	<30>	32,746	28,859	△ 3,887	
会議費	<31>	0	285,000	285,000	賀詞交換会開催による増
賃借料	<32>	1,541,367	2,052,233	510,866	リバサイ仮設トイレ設置による増
保険料	<33>	150,820	294,492	143,672	スポーツカーニバル開催に伴う増
諸謝金	<34>	27,400	328,800	301,400	リバサイ医師・看護師・従事者謝金、コンプラ・栄養研修謝金による増
補助金	<35>	13,300,071	15,720,813	2,420,742	コロナ明けに伴う各種大会の再開による増
委託料	<36>	4,475,064	5,914,040	1,438,976	公益インフォメーション報告委託による増
奨励金	<37>	480,000	1,140,000	660,000	コロナ明けに伴う各種大会の再開による増
手数料	<38>	177,237	229,787	52,550	
光熱水費	<39>	93,299	73,917	△ 19,382	
支払利息	<40>	31,800	166,594	134,794	国債購入に伴う経過利息支払による増
雑費	<41>	26,000	208,164	182,164	退任役員記念品等支払いによる増
租税公課	<42>	27,100	0	△ 27,100	
事業費計	<43>	30,990,777	41,306,471	10,315,694	
管理費	<44>				
役員報酬	<45>	40,000	40,000	0	
福利厚生費	<46>	252,729	264,629	11,900	
旅費交通費	<47>	306,850	325,556	18,706	
通信運搬費	<48>	98,917	325,861	226,944	スポ協表彰式欠席者への記念品等郵送費
消耗品費	<49>	15,810	496,249	480,439	名称変更関係物品購入費による増
修繕費	<50>	92,400	103,510	11,110	
印刷製本費	<51>	31,350	122,100	90,750	
手数料	<52>	24,250	110,910	86,660	
光熱水費	<53>	4,912	4,717	△ 195	
賃借料	<54>	223,200	219,000	△ 4,200	
保険料	<55>	166,268	262,691	96,423	
交際費	<56>	0	86,256	86,256	
租税公課	<57>	6,600	9,650	3,050	
委託料	<58>	33,000	330,000	297,000	弁護士相談費用による増
支払負担金	<59>	160,000	160,000	0	
雑費	<60>	132,500	70,000	△ 62,500	
管理費計	<61>	1,588,786	2,931,129	1,342,343	
経常費用計	<62>	32,579,563	44,237,600	11,658,037	
当期経常増減額	<63>	△ 87,881	△ 3,501,602	△ 3,413,721	

2. 経常外増減の部

科 目		令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
(1) 経常外収益					
経常外収益計	<64>	0	0	0	
(2) 経常外費用					
経常外費用計	<65>	0	0	0	
当期経常外増減額	<66>	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	<67>	△ 87,881	△ 3,501,602	△ 3,413,721	
当期一般正味財産増減額	<68>	△ 87,881	△ 3,501,602	△ 3,413,721	
一般正味財産期首残高	<69>	10,158,934	10,071,053	△ 87,881	
一般正味財産期末残高	<70>	10,071,053	6,569,451	△ 3,501,602	

II 指定正味財産増減の部

科 目		令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
基本財産受取利息	<71>	1,384,130	1,464,402	80,272	
受取補助金等計	<72>	1,384,130	1,464,402	80,272	
指定正味財産からの振替					
一般正味財産への振替額	<73>	1,384,130	1,464,402	80,272	
指定正味財産からの振替計	<74>	1,384,130	1,464,402	80,272	
当期指定正味財産増減額	<75>	0	0	0	
指定正味財産期首残高	<76>	521,600,000	521,600,000	0	
指定正味財産期末残高	<77>	521,600,000	521,600,000	0	

III 正味財産期末残高

科 目		令和4年度 決算額(A)	令和5年度 決算額(B)	比較増減 (B-A)	概要（内訳・主な増減理由など）
正味財産期末残高	<78>	531,671,053	528,169,451	△ 3,501,602	